令和４年度　日本知的障がい者ソフトボール連盟　東日本大会

新型コロナウイルス感染防止対策について

日本知的障がい者ソフトボール連盟

令和４年５月１２日

Ⅰ　基本的な考え方

１　大会開催の判断については、①緊急事態宣言が解除されていること、②自治体からイベントの開催が認められていること、を前提として日本知的障がい者ソフトボール連盟が協議した上で決定する。

２　①『スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会)』、②『新型コロナウイルス（COVID-19）におけるソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（日本ソフトボール協会)』に沿った大会運営に徹し、新型コロナウイルスの感染リスクを最大限低減させて実施する。

３　大会に関わる全ての人（選手・引率者・競技役員など）の健康状態の管理体制を整える。
（開催２週間前の体調管理および検温の報告義務、及び終了後２週間の体調管理・検温の義務）

Ⅱ　具体的対策

１　３密の回避

・密閉（換気の悪い密閉空間)、密集（多くの人が密集する)、密接（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）の発生が原則想定されないこと。

・控え室等の常時換気を行い、各チーム陣地や待機場所等において、周囲との身体距離を確保できるスペースを用意する。

・競技役員と競技者の動線をできる限り分ける。

・各チーム間の接触や入退場時の混雑を減らすため、動線をできる限り分ける。

２　検温・身体症状の有無の報告

①大会役員、競技役員、補助員は、検温・身体症状の有無を報告することとし、大会本部はその情報を管理する。

②各チームには、関係者（選手、引率者等）の大会前２週間の検温結果及び身体症状の有無を記録したものの提出を義務付ける。（大会本部が保管する）

③各チームには、関係者（選手、引率者等）の当日の朝の検温結果及び身体症状の有無についての報告を義務付ける。（大会本部が保管する）

④各チームには、関係者（選手、引率者等）の大会終了後２週間の検温結果、及び身体症状の記録を義務付ける。（各チームで保管する）

※①～④の記録は、大会終了後１か月までを目途に管理・保管し、以後は廃棄する。

３　マスク着用の徹底

・選手、引率者、役員、補助員のマスク着用を徹底する。

※マスクを着用しながら運動を行う場合、熱中症を引き起こす可能性もあるため、周囲との身体距離を確保できる場合においては、外してもよいこととする。

※試合中（控え選手および監督、コーチは着用）のみマスクをはずすようにすること。

４　手指及び器具の除菌

・ベンチ、控室等に除菌スプレーとタオル等を配置し、手指及び用具の除菌を徹底すること。

・各チームで除菌剤を持参し、関係者のこまめな手指消毒を行うこと。

５　隔離スペースの確保

・発熱等、新型コロナウイルス感染症が疑われる身体症状を訴えた大会関係者を、一時的に隔離するスペースを設ける。

６　入場の制限

・安全な大会開催を最優先とするため、大会関係者（役員、補助員等）、チーム関係者（選手、引率者、保護者等）以外の入場を認めないこととする。（無観客試合）

７　放送による注意喚起

・定期的に感染防止対策の徹底について注意喚起を行う。

Ⅲ　関係者へのお願い

１　大会に参加するすべての皆様へ（共通事項）

以下の事項のいずれかに該当する場合は、大会参加を自主的に見合わせてください。

□　体調に不調を感じる場合（例：37.5℃を超える発熱、倦怠感や関節痛、咳、咽頭痛、嗅覚・味覚の異常などの症状がある場合）

□　同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

□　過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□　新型コロナウイルス接触確認アプリ（ＣＯＣＯＡ）より、陽性者との接触可能性が通知された場合

□　感染症に対して不安がある場合

２　参加チームの皆様へ

①　大会参加に際しては、選手（保護者）の同意を得てください。（保健所・医療機関等の第三者に情報を提供する場合がある旨についても同意を得ること）

②発熱（37.5℃以上）がなくとも、風邪の症状がある場合は参加を見合わせてください。

③『検温の実施』『マスクの着用』『手洗い・うがい』『手指消毒』の徹底をしてください。

※発汗や着脱、紛失等を想定し、各チームで予備のマスクを準備すること。

※飲食時以外はマスクを着用すること。飲食時中は会話を控え、黙食とすること。

④各チーム待機場所（スタンド、控室など）で密接場面が生じないよう気を配ること。

※ソーシャルディスタンス【できるだけ２ｍを目安に最低１ｍ】を確保すること。（介助を行う場合を除く）

※控室及びスタンドでは前後・左右それぞれ１席以上空けて利用すること。また、スタンドでは各チーム間のスペースを確保して使用すること。

⑤ウォーミングアップはお互いに十分なスペースを確保して行うこと。

⑥荷物の管理を徹底し、タオル・ペットボトル・コップ等の共用はしないこと。
⑦運動中につばや痰を吐くことは極力行わないようにすること。
⑧鼻水や唾液等が付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋をし、回収後は必ず手指消毒をしてください。また、各チームの責任で持ち帰ること。
⑨試合終了後は各チームで使用したベンチの消毒を行うこと。
※消毒終了後に次のチームが入る。
⑩急な発熱や体調不良等があれば、速やかに大会本部まで連絡をすること。

※大会終了後２週間以内に感染症を発症した場合は、至急、大会事務局担当者（いわてスマイリーズ　羽藤：０９０－５８４１－４１３８）に連絡してください。

３　保護者の皆様へ

①大会前後２週間はご家庭での検温、体調管理をお願いします。発熱、体調不良等があった場合や大会参加に対する不安がある場合は、参加を見合わせてください。
②**選手、その他の関係者の感染リスクを最大限低減させるため、応援ついてはマスク着用のうえ、声は出さずに拍手等で応援していただくようお願いします。**
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては保護者（介助者除く）の方の来場を控え、無観客試合での実施とさせていただく場合があります。
③感染症予防対策のため、大会運営目的以外で個人情報を提供していただく場合があります。また、取得した個人情報は保健所・医療機関等の第三者に提供する場合があります。